

## 市民の声とインターネット

吉村順子

junko@suehiro.nakano.tokyo.jp

## インターネット一カ月経過

ひょんなことから私が関わり始め、前号でもお伝えしたインターネットのその後について報告します。インターネットは「ネットニュースを軸に、なるべく多くの読者に同じ情報を共有してもらいたい」ということで集まった有志によりスタートしました。2月15日の記者会見からまだ45日しかたっていないのに、本当に目まぐるしくいろいろなことがありました。

インターネットのニュースグループ(tnn.interv)は3月1日に開かれ、一ヵ月たったところでニュースグループの数は14になっています。また4月1日現在、インターネットを読み書きできる商用BBSは、ニフティサーブ(GO JISIN)、PC-VAN(J INTERV)、PEOPLE(GO HYOGO)、ASAHIネット(Internet Netnews)などです。日経MIX、アスキーネットも参加の意向を表明され、近日中に実現しそうです。

できるだけ多くの方に投稿の道を開こうということで、インターネットの各ニュースグループは電子メールでの投稿も可能になっています。詳しくは「インターネットからのお知らせ」をご覧ください。

インターネットの主要なサーバーをつとめる中野の末廣ハウスには、共同研究プロジェクトのお申し出が多数あり、いくつかのプロジェクトがスタートしました。その一環として機材や回線も順調に準備が進んでおり、5月にはWWWサーバーサービスも始められる見込みです。インターネットに流れた情報も日本語検索システムを載せ、ストックしながら活用できる方法を検討しています。また、メールにより主要な説明文が取り寄せられるシステムも4月半ば頃からサポートする予定です。こうしたサポートに関しては大勢のみなさんのネット越しのボランティアな協力にとても感謝しています。

さて、ニュースグループを始めてみると、いろいろなBBSがそれぞれ固有のユーザーインターフェイスを生かしたまま相互接続するのは、とても大変なことだということがわかりました。

BBSによっては、システムがキャンセルやmoderatedに対応していません。またMessage-IDを削ってしまうBBSもあります。独自の記事番号が自動的に付き、それを引用の根拠にするある

BBSでの慣習は、他のBBSではまったく意味をなさないという指摘も相次ぎました。フォローアップ(コメント)のスレッド(リンク)がBBSによって違うように解釈されると、議論の流れも噛み合わなくなるといった指摘もありました。

現在は、情報提供が多いのであまり気になりませんが、震災復興などの議論が活発になると、インターネットなりの工夫が必要になるかもしれません。

いくつかのBBSで読み書きをサポートしながらのネットニュース相互接続は、じつにこれが初めてのことで、内部ではさまざまな工夫がされています。そのためニュースフィードに時間がかかるといった問題もありますが、スピードアップはこれからの課題だと考えています。また、草の根BBSの参加も多数報告されており、これからが楽しみです。

震災発生から2ヵ月余りが過ぎ、BBSによっては地震関連コーナーのリストラが始まりました。そうしたなかで、インターネットがこれからの日本のボランティアやそれをまとめる団体にどう活用されていくのでしょうか。とりあえず、枠組みとしてのインターネットを維持する努力は続けていきます。ぜひご協力ください。

## ① インターネットへのお問い合わせは引き続き

PAG02023@niftyserve.or.jp で受け付けています。どうぞよろしく!

## インターネットのニュースグループ(1995年4月1日現在)

インターネットからのお知らせ① tnn.interv.info

非営利組織情報② tnn.interv.ngo-npo

企業の支援活動③ tnn.interv.corp

接続技術情報④ tnn.interv.linktech

行政機関・業界団体からのお知らせ⑤ tnn.interv.official

被災地・被災者:生活情報⑥ tnn.interv.survivors.life-info

被災地・被災者:知りたい・欲しい⑦ tnn.interv.survivors.wanted

被災地・被災者:現地からの声⑧ tnn.interv.survivors.messages

ボランティア:します⑨ tnn.interv.volunteers.offers

ボランティア:募集⑩ tnn.interv.voluneteers.wanted

ボランティア:募集・震災関連⑪ tnn.interv.voluneteers.wanted.quake

復興に向けて⑫ tnn.interv.recovery

その他の情報⑬ tnn.interv.misc

英語による情報⑭ tnn.interv-e



## [インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

**株式会社インプレスR&D**

All-in-One INTERNET magazine 編集部

[im-info@impress.co.jp](mailto:im-info@impress.co.jp)